

と雷のような声で言っただど。

坊様は、

「今日は、天気も良いし、てながあしなが手長足長と遊ぶべと思つてきた。」

つて言うど、てながあしなが手長足長は、

「ようしようし、そんじゃ、何して遊ぶべ。」

つて言うど、ぼうさま坊様は、

「おまえは、何でも化げられるつていうがらおおにゆうどう大入道になつてみる。」

と言うど、てながあしなが手長足長は、

「ようく見でいろ。」

と言うどあつという間に天にもとどくばかりのおおにゆうどう大入道になつただど。

それを見ていた坊様は、

「たいしたもんだ。さすが、てながあしなが手長足長だ。」